

令和7年度 研波市デジタル化推進計画の取組について

実施項目	取組事項	取組状況
(1) 行政手続きの電子申請対応	(新規) 電子申請サービス「LoGoフォーム」の導入	ホームページに申請ポータルを設置した。(41手続き)また、講座申込み・アンケート等に活用し、住民サービス向上を図った。(32手続き)
	スマート窓口システムの対象手続きの拡充	おくやみ関係の2手続きを追加し、合計20手続きとなった。印字書類が作成され、手書き記入箇所が半分程度となった。
(2) AIやRPAなど先端技術の活用による事務効率化と	(新規) 生成AIシステム導入の調査・研究	行政の効率化・高度化をもたらす生成AIサービス導入に向けて調査を行う。
	AIチャットボットのQ&A集の充実	Q&A集の更新・見直し等43項目を行い、回答精度の向上を図った。
	RPA利用業務の拡充	引きつづき利用業務の拡充をすすめることで、業務効率化を図る。 ※RPA=Robotic Process Automation 定型的かつ反復的な事務作業を自動化し業務効率化すること。
(3) 市民の利便性向上を図る自治体DXの推進	(新規) 小中学生向け電子書籍サービスの導入	485冊がタブレット等で閲覧可能。同時貸出が可能で、友達からのおすすめの本をすぐに読むことができる。また、学校の朝読書時間等で活用されている。
	(新規) GIGAスクール構想推進に向けた校内通信ネットワーク、タブレット端末、電子黒板等の運用	校内通信ネットワーク、Windows 11対応のタブレット端末等を更新し、利用開始されている。
	(新規) 窓口利用体験調査による業務の課題把握(窓口BPR)	職員が来庁者の立場で、実際に窓口を体験することで、普段気づきにくい非効率な点や改善すべき点を把握し、業務改革に取り組む。 ※BPR=Business Process Reengineering 既存の業務プロセスを根本から見直し、再構築すること。
	パンフレット・チラシ等のデジタル化推進	QRコードをスマートフォン等で読み込み、ホームページ・電子パンフレットにアクセスいただくことで、より詳しくタイムリーな情報提供、かつペーパーレス化を図った。
	(新規) 市発注工事・業務の電子納品対応	電子データで成果品を納品することにより、業務の効率化、省資源化・省スペース化を図った。

実施項目	取組事項	取組状況
(4) 防災・被災者支援 に係る取組	(新規) 地方税統一QRコード(e L-QR)の活用検討	市税等の納付に利用されている地方税統一QR コードについて、市税以外の使用料等の納付に利 用拡大を行うか検討する。
	SNS(X、Instagram等) による情報発信	引きつづき、効果的に行政情報や緊急情報（気象 警報、クマ等出没）を発信する。
	高齢者向けスマホ・タブ レット講座の開催	引きつづき、スマートフォン等のデジタル端末で の情報取得に不慣れな高齢者に向けた講座を提供 する。
(5) 自治体情報シス テムの標準化・共通 化	「安否確認等支援ツー ル」の導入支援	地域防災力の向上と地域コミュニティ活動の推進 を図るため、自治振興会や自治会・町内会が「安 否確認等支援ツール」を導入された場合、初期費 用等を助成する。
	(新規) 「被災者生活再建支援シ ステム」の導入	被災者生活再建支援システムを導入し、災害発生 時に現地調査から罹災証明書の発行までの迅速化 を図る。
	水門の遠隔操作化	水門を遠隔操作可能に改修し、ゲリラ豪雨による 市街地溢水防止に迅速に対応を図る。 ((施工箇所) 幸町地内若林口用水) (令和5年度まで3基整備、今回1基追加)
(6) セキュリティ対策 の徹底	国の標準システムへ移行 に向けた作業	ガバメントクラウド上のサービスを各自治体が利 用することで、相互の情報連携やデータ共有がで きるようになり、業務の効率化や利便性の向上を 図る。
	県セキュリティクラウド への継続参加	引きつづき富山県が調達したセキュリティクラウ ドサービスを利用し、情報セキュリティの確保を 図る。